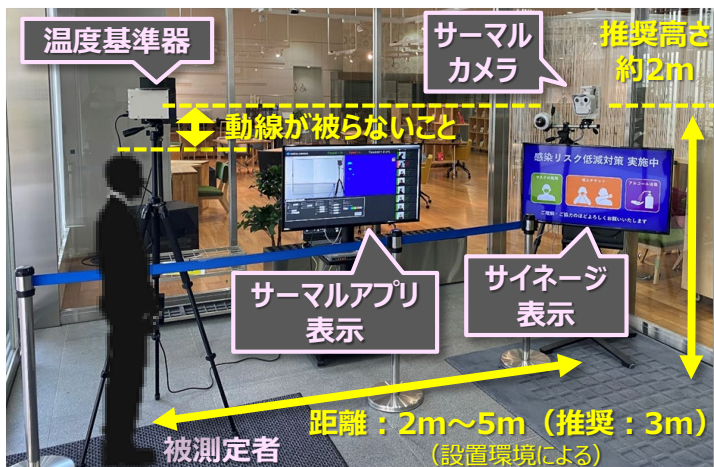
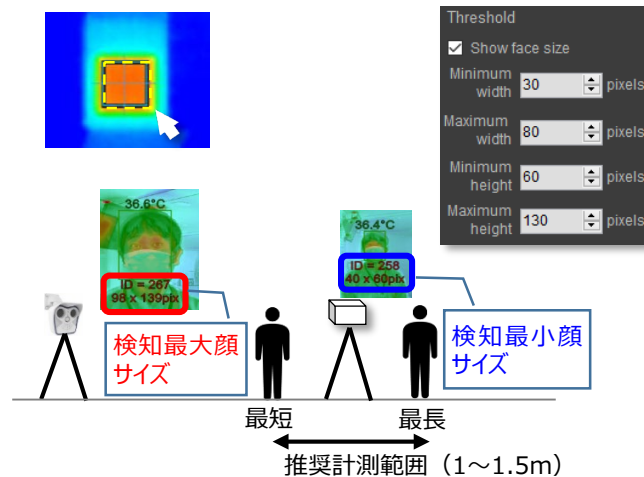


## ①各機器の設置



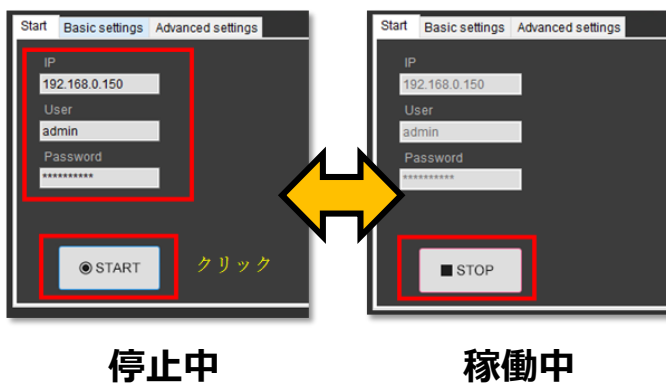
- カメラと温度基準器は基本的に、両者間に被測定者が被らない高さに設置します。また、カメラの画角内に温度基準器が映る様、確認しながら高さ調整を行ってください。(2m付近を推奨)
- カメラと温度基準器の距離は 2m~5m (推奨: 3m) です。
- 測定基準点と温度基準器とは基本的に、サーマルカメラからの距離を同じにしてください。(距離に差がある場合、温度測定が不正確となる可能性がありますので、④の手順で補正してください。)


## ③温度基準器の位置設定および顔サイズの調整 (アプリ)



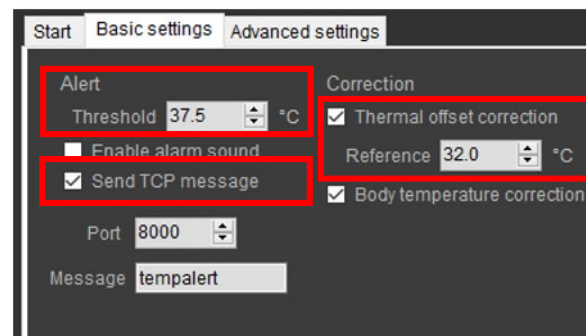
- サーマル画像上をマウスドラッグで、温度基準器の位置を定義します。(定義位置がズレると正しく測定できないため、定期的に定義位置を確認してください。)
- 温度基準器を中心として、最短位置と最長計測位置を定義します。推奨計測範囲 (最短⇔最長) は1~1.5mです。
- 最短計測位置に被験者が立ち、表示された顔サイズを、“Maximum width” と “Maximum height” に入力します。
- 最長計測位置に被験者が立ち、表示された顔サイズを、“Minimum width” と “Minimum height” に入力します。

## ②システムの起動 (アプリ)



- システム各機器の電源を起動します。
- PCにログインします。(ID : admin / PW : Admin123)
- デスクトップのアプリアイコン「」をダブルクリックします。
- 左下メニューの「Start」タブで「START」をクリックします。

## ④温度検知確認・調整 (アプリ)



- 「Basic settings」タブを選択し、「Alert」の「Threshold」を37.5°Cに設定します。
- 「Send TCP message」をチェックします。体表面温度の高い人を検知時、カメラ経由でレコーダーにアラーム通知します。
- 明らかに温度測定値が違う場合は、「Correction」の「Thermal offset correction」をチェックの上、「Reference」にて調整することも可能です。  
⇒サーマルカメラとの測定距離によって、温度測定値が若干異なるため、正しい推定体温が表示されるように設置環境に合わせて補正してください。